※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | T3016 |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 現代の国語 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高等学校　新編現代の国語」　（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | ワークシートなど | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、表現を適切に理解するだけでなく、自らの考えや意見を表現する活動を行います。
・実用的な文章や日常生活に関わる文章を学習していきますので、日常生活を想像して応用していきましょう。
・文章を理解するためには、漢字や言葉の知識は欠かせません。小中学校で習った言葉の復習をし、新しく習った言葉を積極的に習得してください。

## ２　学習の到達目標

言葉による表現や伝わり方を理解し、言語活動を通して適切に表現する力を次のとおり育成することをめざす。
（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、文章の表現を正しく理解できるようにする。
（２）論理的に考える力や想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高められるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、他者や社会と関わろうとする態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 考査Ⅰ | 新しい出会い<br>［教材］<br>「未知」はいくらでもある。 | a：常用漢字を理解し、読み書きできるようにする。語句の量を増やし、語彙力を高める。<br>b[書]：話し言葉と書き言葉を理解し、適切な表現で自己の考えを表現する。<br>c：進んで文章を理解し、自分の考えと筆者の考えを比べ、自己と他者の考えの違いを理解しようとしている。 | ワークシート<br>振り返り問題<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート |
| | 話して伝える<br>［教材］<br>話し方の工夫 | a：話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。<br>b[話／聞]：相手・目的・場面に応じた言葉づかいを理解し、適切に表現する。<br>c：積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>発表・報告 | 振り返りシート |
| 考査Ⅱ | 言葉が開く世界<br>［教材］<br>言語としてのピクトグラム | a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。<br>b[話／聞]：日本のピクトグラムについて筆者の意見を参考にしながら、自分の意見を形成し、他者と意見交換を行う。<br>c：積極的に日本のピクトグラムについて調べ、世界との違いを知ろうとしている。 | ワークシート<br>振り返り問題<br>定期考査 | ワークシート<br>発表・報告 | 振り返りシート |
| | 話して伝える<br>［教材］<br>論理的な表現 | a：論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。<br>b[書]：説得力を意識した表現で、自己の考えを書き表す。<br>c：進んで表現を考え、自分の意見の説得力を高めようとしている。 | ワークシート | ワークシート<br>発表・報告 | 振り返りシート |
| 考査Ⅲ | 人間の風景<br>［教材］<br>臆病な詩人、街へ出る | a：常用漢字を理解し、読み書きできるようにする。語句の量を増やし、語彙力を高める。<br>b[読]：内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。<br>c：粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 | ワークシート<br>振り返り問題<br>定期考査 | ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |
| 考査Ⅳ | 生活の中の表現<br>［教材］<br>法律の改正に関わる文章を読み比べる | a：情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。<br>b[話／聞]：改正前後の法律文から読み取れたことをまとめ、理解したことをお互いに話し合う。<br>c：複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>発表・報告 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 話して伝える<br>［教材］<br>待遇表現 | a：敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。<br>b[書]：相手や場に応じた表現を選択できるようになる。<br>c：積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。 | ワークシート | ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |
| 考査Ⅴ | 社会と人間 | a：話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、常用漢字の使い方や語彙力を高める。 | ワークシート | ワークシート | ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | ［教材］<br>人はなぜ仕事をするのか | b[読]：内容や構成、論理の展開を的確に捉える。また、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。<br>c：粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 | 振り返り問題<br><br>定期考査 | | |

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　20　）時間